



**令和4年第2回町議会臨時会** 【会期：10月17日】

本会議の審議の結果は次のとおりです。

**議案等表決結果一覧表** ◆全会一致で可決した議案

議案番号	件名	議決の結果
第46号議案	令和4年度愛南町一般会計補正予算(第4号)について	原案可決

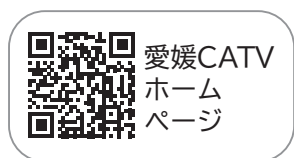
**令和4年第4回町議会定例会** 【会期：12月9日～16日】

本会議の審議の結果は次のとおりです。

**議案等表決結果一覧表** ◆全会一致で可決した議案

議案番号	件名	議決の結果
承認第7号	専決処分第9号の承認を求めることについて(愛南町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例)	原案承認
第47号議案	地方公務員法等の一部改正に伴う関係条例の整理について	原案可決
発議第4号	愛南町特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例等の一部改正に対する附帯決議	原案可決
第49号議案	愛南町職員の降給に関する条例の制定について	原案可決
第50号議案	愛南町議会議員及び愛南町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について	原案可決
第51号議案	愛南町特別職の職員で非常勤のものとの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	原案可決
第52号議案	R4魚神山漁港海岸保全施設整備連携工事請負契約の変更について	原案可決
第53号議案	救助工作車購入契約について	原案可決
第55号議案	令和4年度愛南町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	原案可決
第57号議案	令和4年度愛南町小規模下水道特別会計補正予算(第2号)について	原案可決
第59号議案	令和4年度愛南町病院事業会計補正予算(第1号)について	原案可決
発議第5号	会計年度任用職員の処遇改善におけた法改正と雇用安定に関する意見書	原案可決

詳しくは、次回定例会までに町ホームページに公開予定の会議録によりご確認ください。なお、議会のインターネット中継は町ホームページから専用サイト(愛媛CATV)にアクセスして録画中継をご覧ください。



# 議会からのお知らせ

議会情報をお伝えします。







## ◆表決結果が分かれた議案

○:賛成 欠:欠席 ※原田議長は本会議の表決には加わらない。

議案番号	件名	尾崎 恵一	嘉喜山 茂	池田 栄次	吉田 茂生	少林 法子	石川 秀夫	金繁 典子	鷹野 正志	原田 達也	佐々木 史仁	中野 光博	山下 正敏	那須 芳人	吉村 直城	議決の結果
第48号議案	愛南町特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例等の一部改正について	○	○	○	○		○		○	-	○		欠	○		原案可決
第54号議案	令和4年度愛南町一般会計補正予算(第5号)について	○	○	○	○		○		○	-	○	○	○	○	○	原案可決
第56号議案	令和4年度愛南町介護保険特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○		○		○	-	○	○	○	○	○	原案可決
第58号議案	令和4年度愛南町上水道事業会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○		○		○	-	○	○	○	○	○	原案可決

## 一般質問

6名の議員が一般質問を行いました。

議員氏名	質問事項
 嘉喜山 茂 <small>しげる 茂</small>	①プラスチックごみの処理について ②林業政策について ③地元事業者の育成等について ④土地等の有効活用及び物価高対策について
 石川 秀夫 <small>ひでお 秀夫</small>	①愛南町公立小中学校再編計画について ②デジタル田園都市国家構想への愛南町の取り組みについて ③サンパール観光株式会社の倒産に伴う旧サンパールの跡地利用について
 金繁 典子 <small>のりこ 典子</small>	①愛南町の正規職員(一般行政職:218人のうち7割強が男性)の約半数が「給与を上げるため」課長補佐に昇格する一方で、非正規職員(会計年度任用職員:305人のうち女性が8割弱)に対する処遇改善(国の決定等)は、なぜ愛南町で進まないのか ②愛南町では一般行政職の正職員(218人)に占める女性職員の割合が非常に低く3割に満たず(60人、27.5%)、課長(相当)職では2割に満たない。さらに本庁と支所の職員における課長職ではわずか9%(22人中2人)。その理由と改善策について問う ③愛南町は活力ある地域社会の実現を目指し、住民が町政に参画できるよう、委員会等の委員には2割以上を公募することが条例で規定されているが(住民参画推進条例)、なぜ守られていない委員会等が多くあるのか等について
 吉田 茂生 <small>しげお 茂生</small>	①循環型の地域社会づくりについて ②防災・減災対策の推進について
 少林 法子 <small>のりこ 法子</small>	①公民館を中心とした地域活性化について ②愛南町独自のふるさと学習プログラムの導入について
 池田 栄次 <small>えいじ 栄次</small>	①ごみ出し困難者の家庭ごみ収集について ②出産・子育て支援について ③带状疱疹ワクチン接種の助成について

## 議員派遣結果報告（令和4年第1回愛南町議会報告会）

令和4年10月6日(木)18時30分より、御荘文化センター大研修室において、議会および各常任委員会の活動状況を報告し、町民の皆さまの理解を得ることや今後の議会活動の活性化の一助とすることを目的に、令和4年第1回愛南町議会報告会を開催しました。

当日は、約60人の参加があり、議会活動、総務文教常任委員会および産業厚生常任委員会、議会活性化特別委員会の今年度の活動について各委員長から報告を行いました。

また、今回の報告会では、法政大学教授の土山希美枝先生が、町民と議員で議会を語るミニフォーラム「いま求められる議会のありかた」と題して講演を行いました。なお、終了後には町民の皆さまからのご意見を少しでも多くいただけるよう、引き続き意見交換会を実施しました。

### 【まとめ（報告）】

今回、参加者からのご意見の中には、「障がい者の所得の増加策について」、「子育て世代に政治に関心を持ってもらう工夫が必要」、「減税のための工夫」等の具体的な課題に対して議会の姿勢を問う意見のほか、「議員研修の成果をどう生かすのか」「議会報告会を年に数回開くべき」等の議会の活動に対する要望も寄せられました。

なお、議会報告会の進め方について、今回土山希美枝先生をコーディネーターとしたことについて、「各々の住民が立場の違いはあれ、それぞれに意見を出し合える良い機会であったと思う」、「質問をまとめながらの先生の説明、納得のいくことも多かった」等の意見があり、概ね好意的に受け止められており、来年度以降の報告会の開催方法を検討する上で、非常に参考になる取り組みであったと考えます。



## 産業厚生常任委員会所管事務調査報告

### 【高齢者、障がい者の交通支援対策について】

本町における高齢者と障がい者の交通支援対策に係る愛南町福祉タクシー助成条例、愛南町高齢者運転免許証自主返納支援事業実施要項等、各例規について説明を受け、問題点や課題等について審査し、取りまとめた結果を鷹野正志委員長が報告しました。

### 【調査結果（概要）】

産業厚生常任委員会では、本町における高齢者と障がい者の交通支援対策に係る各例規について、担当課より説明を受け調査結果を取りまとめました。

現在運用されている福祉タクシー等4制度について調査した結果、対象年齢および期間等において不公平感が感じられることがあることから、制度に見直しが必要との結論に至りました。このような中で、国においては、持続可能な運送サービスの提供の確保に資する取り組みを推進するための地域公共交通の活性化および再生に関する法律等を改正し、地域の移動手手段の確保、充実を図る取り組みについて支援することとしており、高齢化の進む愛南町にとって、高齢者、障がい者の交通支援対策は待ったなしの状況であることから、当委員会として、一刻も早い交通対策の検討を開始するため、住民主体の検討会および議会の検討会の設置を提言します。

最後に、コミュニティバスの運行等についても意見を交わし、高齢者、障がい者等の交通弱者を対象とした交通支援対策についても、町全体の大きな地域公共交通対策の枠組みの中で検討すべきとの意見が多く、今後の課題として検討すべきと考えます。

### 議員派遣結果報告（行政視察）

愛南町議会では、令和4年10月31日(月)から11月2日(水)までの間、議会改革の先進地である北海道福島町、「保育園留学」で交流人口の拡大を図っている厚沢部町、プラスチックごみをエネルギーとして活用する地域循環モデルを学ぶため、江別市コープさっぽろエコセンターを視察しました。

#### 【視察概要】

福島町では、二元代表民主制のもと、緊張関係を維持しながら、政策をめぐる立案、決定、執行および評価における論点、争点を明確にし、町の善政について競い合い協力し合うことを常に意識して町政を運営しており、その中で議会は、「議会の主役は議員」、「住民が参画する議会」、「変化を恐れない議会」という3つの視点で一歩ずつ改革を積み上げ、議会改革を進めていました。

厚沢部町では、移住体験住宅を活用した移住・交流について、保育園留学について説明を受けました。移住・交流施策については、移住体験住宅を活用して交流人口の拡大を目的に実施しているもので、現段階で移住に結び付いた実績はないが、関東圏の利用者が多く、その利用者がリピーターとなるなど着実な事業展開を行っていました。

また、保育園留学も交流人口の拡大に着目した施策で、特に子育て世代である30代、40代との交流を通じて、超長期的な関係人口の創出を図ろうとする官民共同の事業で、保育園の一時預かり事業と収穫体験などのプログラムを組み合わせオリジナル化したものであり、この事業に関してもリピート率が高いとの説明を受けました。

最後に江別市では、プラごみをエネルギーとして活用する地域循環モデルを学ぶため、全道から集まったプラごみ等を燃料として受け入れ資源化する「樹脂燃料ハイブリットボイラー」、また、漂着プラをエネルギー源に変えることで、海洋流出を防止し海洋プラゼロを目指す「クリーンオーシャンプロジェクト」等「プラごみの小型分散エネルギー活用モデル」の説明を受けました。



## 地方自治の振興発展に寄与

### 中野光博議員に表彰状

多年にわたり、町議会議員として地方自治の振興発展に寄与した功績が評価され、愛南町議会議員の中野光博さんが、四国地区町村議会議長会から表彰を受けました。

